

DOC Japan

## 既存の天然系ポリマーが好調 「ドックガム」の提案を強化



大川社長

パーソナルケアやホームケア用途の天然系ポリマーを開発・提供するDOC Japanは、天然由来コンディショニング剤の「DOC SilFee (ドックシルフィー)」と「クシルフィー」と、シャンプーに配合するベースのポリマーとして提案に注力した「OCQUAT (ドックコート10)」(ポリクロタニウム-10)など既存原料の売上が伸長し、前年を上回る実績となつた。

ドックシルフィーは、スキンケア製品にも用いられるツバキ種子油やマカデミア種子油など6つの天然由来成分を複合したコンディショニング剤で、優れた毛髪の櫛通り性をもたらし、傷んだ髪の疎水性を回復するとともに、地肌に潤いを与える。

「洗い流した後もコンディショニング性を発揮するドックシルフィーの効果や使い方への理解が広がり、堅調な売上で推移している」(大川彰子社長)

ドックコート10は、天然由来多糖類のセルロースを万チャオン化したコンディショニングポリマーで、シャンプーへの配合を可能にする新しい処方のプロトタイプを複数紹介する。ドックガムは泡が漂れにくく泡質の安定性も良いため、シャンプーでの採用を広げたい」と大川社長は語る。

OCGUM CT-H DP」(以下、ドックガム)の提案を強化していく。

ほか、ヘアトリートメント成分の乗りを良くしてシャンプー後に使用するコンディショナーの効果を高める。「ドックコート10をシャンプーに配合することで、その後に使用するコンディショナーの良さが引き立つとお客様から評価され、採用企業が広がってきている」(大川社長)

来年のCITE JAPANに向けては、天然由来のコンディシヨニングポリマー「DOC GUM CT-H DP」(以下、ドックガム)の提案を強化していく。

科タラの種子より得られたタラガムをカチオニ化したコンディショニングポリマーで、毛先のまとまり感や良好な櫛通りを実現する。